

山中裕先生著書・論文目録(二)

小口雅史編

○昭和四十一年

二月 大鏡の歴史批判の性格 国文学解釈と教材の研究二一―二

三月 宮仕意識 国文学解釈と鑑賞三一―四

紫式部 人物叢書附録二三一(『紫式部』)

三月―昭和四十二年一月

日記と日記文学(上)―(下) 歴史散歩二四―二六

六月 源氏物語と延喜・天曆―源氏物語準拠説に関する一考察 歴史教育一四―六

史

七月 角田文衛氏著『紫式部の身辺』 国語と国文学四三―七

八月 藤原兼家とその身辺 日本古典評釈・全注釈叢書月報二

○昭和四十二年

一月 正月の年中行事 日本歴史二二―四

三月 平安時代の年中行事 『王朝貴族』(日本歴史シリーズ四、世界文化社)

宮仕え先 国文学解釈と鑑賞三一―三

六月 道隆と道長 国文学解釈と教材の研究二二七 改 人  
七月 華麗なる摂関政治 『日本文学の歴史』 3 宮廷サロンと才女  
(秋山虔・山中裕編、角川書店)

八月 歴史物語の登場 『日本文学の歴史』 4 復古と革新(佐藤謙三・竹内理三編、角川書店)

大鏡の藤原道長批判 文学三五八 史  
十月 官職 『枕草子必携』(岸上慎二編、学燈社)

年中行事 『枕草子必携』(岸上慎二編、学燈社) 改 古

十一月・十二月

貞信公記 年中行事絵巻 西宮記①② 藤原師輔の日記・九暦  
①② 国宝「北山抄」 「小右記」 読売新聞(11月17日)12  
月9日

十二月 平安朝後宮の年の暮 風俗七一 古

○昭和四十三年

五月 歴史物語に及ぼした影響 国文学解釈と鑑賞三三六 史

能見堂の歴史―金沢能見堂八景縁起考 三浦古文化四

六月 岸上慎二著『清少納言伝記』 日本歴史二四一

八月 松村博司著『栄花物語の研究第三』 河北勝氏著『栄花物語研究』 国語と国文学四五八 史

九月 源氏物語の高麗人について 『対外関係と社会経済』(森克己博士還暦記念論文集、塙書房) 史

十二月 年中行事絵巻ところどころ 日本絵巻物全集月報二三

○昭和四十四年

一月 林陸朗著『上代政治社会の研究』 湘南史学一

二月 平安時代の女流文学 講談社版日本歴史全集月報五

五月 年中行事・祭祀 国文学解釈と教材の研究一四一六

一九六八年の歴史学界―回顧と展望 古代四 史学雑誌七八一五  
小一条院(敦明親王)考 『律令国家と貴族社会』(竹内理三博士還暦記念会編、吉川弘文館) 改 人

六月 目崎徳衛著『平安文化史論』 史学雑誌七八一六 史

八月 藤原氏の栄枯盛衰 学燈(受験の国語)二二一八

十一月 寛弘三年三月四日の「花宴」について 古事類苑月報三三二 史  
松村博司氏著『栄花物語の研究 第三』 国語と国文学四六一  
一一 史

十二月 史書・史論の文学性 国文学解釈と教材の研究一四一六 史

月不明 平安朝の女流作家 友(笠原一男氏と対談)

○昭和四十五年

四月 みやびの宴―宮廷生活と年中行事 『日本と世界の歴史』 7  
(学習研究社)

五月 道長の時代―満月に比した権勢と栄華 宮廷貴族の遊芸―遊戯にひそむ権力の暗闘 『日本と世界の歴史』 8 (学習研究社)

六月 枕草子とその歴史的背景 言語と文芸七〇 史

『御堂関白記』の藤原道長 『古記録の研究』 高橋隆三先生喜寿記念論集(続群書類従完成会) 改 人

七月 赤木志津子著『御堂関白藤原道長』 日本歴史二六六

十一月 源氏物語の史的背景 国語科通信一九 [史]

十二月 源融考 古代学一七―三 改 [人]

○昭和四十六年

三月 栄花物語 『国史大系書目解題』上(坂本太郎・黑板昌夫編、

吉川弘文館) [史]

四月 源氏物語の歴史と文学 論壇一―一

五月 『栄花物語』の史実と虚構―『栄花物語全注釈』一を讀みて

(二) 日本古典評釈・全注釈叢書月報一二

六月 源氏物語の準拠と構想 『源氏物語とその周辺』(古代文学論

叢2、紫式部学会編、武蔵野書院) [史]

七月 年中行事 ばれるが二三三

十二月 源氏物語の時代 『源氏物語講座』6(有精堂) [史]

道風と佐理の生き方 書道芸術月報一三

角田文衛著『王朝の映像』 日本歴史二八三

○昭和四十七年

四月 公事と生活の記録 国文学解釈と鑑賞三七―四 改 [人]

六月 『平安朝の年中行事』(塙書房)

栄花物語の史実と虚構(二)―『栄花物語全注釈』二を讀みて

日本古典評釈・全注釈叢書月報一六

七月 藤原兼家論 『続日本古代史論集』下(坂本太郎博士古稀記念

会編、吉川弘文館) 改 [人]

九月 王朝の后たち 王朝の才女たち 『日本女性史』1めくるめく

王朝の女(笠原一男編、評論社)

十一月 昭和五十年五月

源氏物語と年中行事(二)―(三) 『源氏物語』3―5(日

本古典文学全集、小学館) [古]

○昭和四十八年

四月 源氏物語と年中行事 円地文子訳源氏物語卷八月報

六月 日記文学と物語文学 『日本の歴史』4平安貴族(研秀出版)

宮廷人の生活はどのようなであったか 平安時代の宴と節会 物

合わせ 平安時代の女性の地位はどんなであったか 文学に現

れた平安時代の「婿取り婚」 『源氏物語』はどうしてできた

か 歴史の見方はどのように変わっていったか 『日本歴史の

視点』1原始・古代(児玉幸多・豊田武・斎藤忍編、日本書

籍)

八月 赤染衛門 歴史のヒロインたち(12) サンケイ新聞(11日)

(永井路子氏と対談) 後に『歴史のヒロインたち』(光風社

書店)に再録

十月 関連諸学から風俗史学へ 文献史学の立場から 風俗二二―一

改 [古]

栄花物語の作者と歴史性 朝日新聞(23日)

十二月 源氏物語と時代性 季刊リポート笠間九

○昭和四十九年

一月 栄花物語の史実と虚構(三)―『栄花物語全注釈』三を讀みて

日本古典評釈・全注釈叢書月報一九

三月 万葉と神奈川 郷土神奈川二

四月 『平安朝文学の史的研究』(吉川弘文館)

(新稿) 兼家・兼通の争い 中関白家の衰え つばみ花巻

六月 故実説話の系譜 『日本の説話』 4 中世<sup>(3)</sup> (市古貞次・大島建彦編、東京美術) 改 古

御堂関白記 地誌と歴史一

七月 角田文衛著 『日本の後宮』 古代文化二六〇七

和泉式部の宮仕とその時代 俳句とエッセイ二一七

九月 源氏物語の準拠と史実 『源氏物語の研究』(阿部秋生編、東大出版会)

大出版会

宮廷の生活 『日本生活文化史』 3 日本的生活の基点(河出書房新社)

十一月 『平安人物志』(東大人文科学研究叢書、東京大学出版会)

○昭和五十年

三月 宮廷行事の知識 歴史読本二〇一四(臨時増刊)

歴史物語の本質 東京大学新聞(6日)

四月 歴史と私 歴史手帖三一四

「日記文学」と「日記」の間で 朝日新聞(3日)

五月 歴史物語の世界 行事と儀式 藤原頼通―父道長の威光に支えられた関白 『人物探訪・日本の歴史』 2 王朝の貴族(暁教育図書)

清少納言の生涯(清少納言顕彰記念講演) 古代文化二七一五

『枕草子』にあらわれた中関白家の発展と没落 高校通信国語 九一三

六月 紫式部の男女観 ばれるが二八〇

七月 日記と記録 『鑑賞日本古典文学』 10 王朝日記(臼田甚五郎他編、角川書店) 改 古

栄花物語 歴史読本二〇一九(歴史の名著一〇〇) 後に別冊

歴史読本事典シリーズ・日本歴史「古典籍」総覧に再録

八月 角田文衛著 『椒庭秘抄―待賢門院の生涯』 古代文化二七〇八

九月 東三条院詮子―弟道長の全盛に貢献 彰子、妍子、威子 安子と芳子 『人物探訪・日本の歴史』 16 歴史の女性(暁教育図書)

十二月 『栄花物語』の史実と虚構《四》―『栄花物語全注釈』 四を読む みて 日本古典評釈・全注釈叢書月報二一

○昭和五十一年

三月 『平安朝ものしり』(KKベストセラーズ)

枕草子の年中行事 『枕草子講座』 4 言語・源泉・影響・研究(有精堂) 改 古

藤原道長と摂関政治 関東学院大学文学部紀要一八

服部敏良著 『王朝貴族の病状診断』 史学雑誌八五―三

藤原道長と摂関政治の組織 歴史読本二一四 改 古

四月 栄花物語の歴史的特徴 『鑑賞日本古典文学』 11 栄花物語・紫式部日記(松村博司・阿部秋生編、角川書店)

五月 美しき五月 俳句とエッセイ四一五

六月 池田勉著 『源氏物語試論』 古代文化二八一六

八月 平安朝文学と「縁」 あすあすあす二三

十一月 御堂関白記 古代文化二八一一

十二月 『栄花物語』の史実と虚構《五》―『栄花物語全注釈』五を読

みて 日本古典評釈・全注釈叢書月報一三三

### ○昭和五十二年

一月 村上天皇―天暦の聖帝 別冊歴史読本二―一（歴代天皇百二十四代）後に別冊歴史読本入門シリーズ1（歴代天皇百二十五代）に再録

三月 はかられた天皇―花山天皇 藤原氏の内争―兼通と兼家 『人物群像・日本の歴史』4 貴族の栄華（学習研究社）

栄花物語の本質―巻六「かゞやく藤壺」を主として、その歴史意識について 『地域と文化』本位田重美先生定年記念論文集（蛭沼寿雄編、本位田重美先生定年記念事業会）

「御堂関白記」についての想い出 陽明叢書国書篇月報九  
栄花物語と摂関政治―特に後宮を中心として 日本学士院紀要  
三四―三

藤原道長の間人 朝日新聞（5日）

五月 文学にあらわれた平安京 歴史手帖五一五

七月 歴史物語としての『栄花物語』 ばれるが三〇三

風俗史学と年中行事 江馬務著作集付録九

平安貴族の生活と文化 服装文化一五五

「源氏物語」の魅力 歴史公論三―七（阿部秋生氏と対談）

十一月 清少納言とその時代 国文学解釈と鑑賞四二―一三

十二月 女文字と女日記 赤染衛門―道長の栄華を綴った才女 『日本

女性の歴史』3 宮廷を彩る才女（晚教育図書）

風俗史学の現状と未来 風俗一六一―（進士慶幹・村上昌氏と対談）

### ○昭和五十三年

一月 『御堂関白記』と儀式行事 『続律令国家と貴族社会』（竹内理三博士古稀記念会編、吉川弘文館） 古

平安朝の年中行事―正月風景 日本古典文学会々報五七

二月 角田文衛著『王朝の明暗』 日本歴史三五七

五月 目崎徳衛著『王朝のみやび』 週刊読書人（8日）

六月 心に鳴りわたるレコード 『La POLA MOOKS』3（アトリアム銀座ラ・ポラ）

八月 人物と筆蹟 日本書蹟大鑑月報三

九月 藤原師輔論 『古代史論叢』下（井上光貞博士還暦記念会編、吉川弘文館） 古

『栄花物語』の史実と虚構《六》―『栄花物語全注釈』六を読

みて 日本古典評釈・全注釈叢書月報二五

十一月 平安時代の年中行事と絵巻 『新修日本絵巻物全集』24 年中行事絵巻（角川書店）

十二月 源氏物語若菜の巻について―準拠と構成を中心として 『論叢

王朝文学』（上村悦子編、笠間書院）

官職・年中行事 別冊国文学1 源氏物語必携（秋山虔編、学燈

社）

### ○昭和五十四年

三月 年中行事と宮廷の女性 『日本女性の歴史』15 日本女性史の謎

(暁教育図書)

三〇九月源氏物語雑感(一)―(三)―その時代背景と歴史性をみる

陽明叢書国書篇源氏物語月報一―三

八月 栄花物語雑考 リポート笠間一九

〇昭和五十五年

一月 公家日記と年中行事儀式―忠平・師輔を中心にして 天理図書

館善本叢書月報五〇

六月 早春の箱根 タウン誌浜っ子二七

保坂弘司著『大鏡研究序説』国文学研究七一

栄花物語の説話性 説話文学研究一五

八月 日記と日記文学 鑑賞日本の古典月報八

九月 冷泉家古文書の発見 東京大学新聞(28日)

十月 後宮・その内面 後宮の生活(制度 日常 行事) 国文学解

釈と教材の研究二五―一三 改 〔五〕

十二月 『王朝貴族と女流作家』(教養講座シリーズ38、ぎょうせい)

〇昭和五十六年

二月 物語風史書『栄花物語』をめぐる 日本古典評釈・全注釈叢

書月報二八(松村博司氏と対談)

『栄花物語』の史実と虚構《七》―『栄花物語全注釈』七を読

みて 日本古典評釈・全注釈叢書月報二八

三月 はしがき 『年中行事の歴史学』(遠藤元男・山中裕編、弘文

堂)(遠藤元男氏と共著)

年中行事の研究史 『年中行事の歴史学』(同右)

〔五〕

中国文化和の交流 『年中行事の歴史学』(同右) 改 〔五〕

宮廷と公家社会 『年中行事の歴史学』(同右) 改 〔五〕

年中行事研究書・史料目録 『年中行事の歴史学』(同右)

(佐藤信氏と共著)

三月 日記の中の秘められたる歴史との邂逅―資料の中に埋もれて

東京大学新聞(10日)

註 略号などについては、前号を参照されたい。